第5学年5組 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者

1 単元 三国の農業を盛り上げようプロジェクト

2 目標

- 米づくり体験や農家の方の交流を通して感じた三国の農業をより地域の方に伝えたいという思いをも とに、「三国の農業を盛り上げようプロジェクト」の計画に立案し、三国農業サミットを開催することで、 自分たちの食が人々の努力や工夫に支えられていることに気付くことができるようにする。
- 「三国の米PRプラン」を構想し、地域にむけてよさを伝えるために必要な情報を収集・取捨選択し、 追究したことをまとめ、「PRプラン」として表現することができるようにする。
- 米づくりのよさを地域の方々に伝えるために、主体的・協働的な学習に取り組むとともに、自分も食 に関わる一人として社会に参画しようとすることができるようにする。

3 単元計画 (56時間)		
配時	学習活動・【自己選択・決定を伴うつなぐ活動】	手立て
8 4 7	 小郡市には多くの水田があることについて知り、米への関心をもつ。 ○ バケツ稲とペットボトル稲の栽培をする。 【既】 ○ 田植えを行う。 ○ 「米」「米づくり」に関する疑問・観察を通して抱いた疑問について調べる。 【自】【他】 【課題① 自分が疑問に思ったことを、調べよう】 	米づくりについて身近に感じることができるよう、地域の農事組合の方と田植えをする場を設定する。目的に応じて表現できるよう、調べる方法・報告の方法を選ぶ場を設定する。
3	○「米」「米づくり」に関してまとめたことを、友達に報告する。	
3	2 地域の農作物を育てる農家の方への取材を通して、農家の思い、願いにふれる。 ○ 地域で育てられている農作物を知る。 【他】 ○ 取材をしたい農作物別に、グループに分かれる。 ○ 農家の人の思いや願いを聞く。 【既】【自】 ○ 取材を通して感じた「農家の思い」「願い」「流通先」「こだわ	○ 地域の米農家の方が育てる 米を、より地域の方に伝えよう と意識することができるよう に、稲刈り体験や取材の機会を つくる。
(5)	り」「商品のよさ」などをPRするための見通しをもつ。 【他】	, = 0
	【課題② 中間報告会にむけた準備をしよう】	
4	3 農業サミットにむけ、三国の農業を盛り上げるためのPRプランをつくる。○ グループごとに、PRをしたい内容を決める。 【既】	
⑦ 2 / 7 本時	 ○グループごとに、PRプランをつくる。 【他】 お店のPOP またわりや 思いを入れる。 機にいれる。 *新聞 誰でも見やすい大きい文字を入れる。 なんれる。 	○ よりよいPRプランをつく ることができるようにするために、タブレット端末の共有機能を活用して本時の計画を友達と共有する場を設定する。
3	○ 中間発表会を実施し、グループ毎にアドバイスをする。【他】○ 中間発表会のアドバイスをうけた、グループごとの農もりプランを付加・修正する。【課題③ 農業サミット開催にむけた準備をしよう。】	【アドバイスの視点】 ○ 具体的になっているか ○ 実現可能なものか ○ 見やすいか ○ だれでもわかりやすいか ○ 一番伝えたい点が明確か
② ② ② ② ②	4 農業サミットを行い、まとめた「PRプラン」を様々な場に発信し、学習を振り返る。 ○ 農業サミットを計画する。 ○ 農業サミットを行い、農もりプランを農業振興課やJAの方に提案する。	○ 活動を通して深まった自分 自身の生き方を見つめること ができるようにするため、振 り返りの視点を示す。

4 主眼 PRしたい内容が、より地域の方に伝わるように視点をもとにして「米PRプラン」を 見直すことができるようにする。

5 本時過程 自己選択・自己決定の場

配 学習活動・予想される児童の反応 手立て(○)と評価(◇) 時 階 前時までにグループごとに話し合ったPR方法を振り 10 導 入 返り、めあてをつくる。 各グループでめあてをも てるようにするために、前 私たちは POP で表すことにしたけれど、農家の 時までにそれぞれのグルー 方のこだわりや思いがきちんと伝わる POP に プで困っていることや米P なっているかな。何か足りない所はあるかな。 Rプランづくりで課題とな っていることを明らかにし GTの方にみてもらい、伝わる内容になってい ておく。 【既有】 るか伝えてみようよ。アドバイスをもらえた ら、改善点が何か見つかるかも。 米PRプランを見直そう 展 2 自分たちのグループの作ってきた米PRプランをより 25 ○ 自分たちの「米PRプラ 開 よいものにするために話し合う。 ン」の話合いにおいて見通 (1) 自分たちのグループの進捗状況を確認し、本時の計 しを立てることができるよ うにするため、話合いの視 画を立てる。 点を示しておく。 ①自分たちの班が何をするか。 (視点の例) ②どんな方法でするか。 ③どれくらいの時間配分を確認する。 ○改善点・付け加える点を 明確にする。 (2)GTからのアドバイスや考えを取り入れながら、 ○改善しようと考えた理由 よりよい「米PRプラン」を考える。 ○次の時間への見通し 「米 PR プラン」を話し合う ○ グループの人同士で本時 の話合いの内容について確 認ができるようにするた グループ内での交流やGTからのアドバイスをうけて め、タブレット端末の共有 ノート機能を使えるように ふれあい館三国に 袋に入れる お店の POP 動画作成 掲示するポスター (ICT) 【他者】 する。 カード 農家の方のこ 出荷先や販売 商品のよさ ○ グループごとの PR した 買った人が家 だわりや思い (味・健康面・ 先がより伝わ い内容に合わせてより伝わ に帰って見る が伝わる POP 栄養成分)を伝 るように、ア と嬉しくなる、 る方法にするため、調べる にしよう。農家 える内容を取 ニメーション 「おすすめレ の顔写真が入 方法を選ぶことができるよ り入れた新聞 を使ってみ シピ」を書いて るとより安心。 うにする。**【場面・選択】** にする。 みる。 ◇ 自分たちの PR したい点 を明らかにして話合い、 プランを見直している。 より地域の方に伝わる、米 PR プランへ 『思・判・表』 終 各グループごとに、本時での学び方について振り返り、 ○ 本時での学びの成果や課 10 末 次時の学習への見通しをもつ。 題を個人やグループで評価 することのできるように、 ・POPに表した「こだわり・思い」は、GTの方の「顔写真が 振り返りの視点を示す。 ある方がより伝わる」と言われたので、次は写真を入れようと 【自分】【他者】 思う。すると、よりこだわりが伝わるPOPになると思う。 ・新聞に「商品のよさ」で栄養のことを入れようと思う。ふれあ い館三国には高齢の方も多く来られるので、栄養のことを入れ ればより関心をもって読んでもらえそうと考えたからです。